



Basic & New

3-002RXG-00-01

日本ペイント株式会社

製品使用説明書

テツゾールP - 200エコ

環境配慮形シリコン・アルキド樹脂耐熱用下塗り塗料

特 長

- ・はけ塗り、ローラー塗り、エアレス塗装いずれも良好です。
- ・乾燥が速く、塗装作業性にすぐれています。
- ・有害重金属の鉛・クロムを配合していません。
- ・耐熱性にすぐれ、素地、層間の密着性がよいです。
- ・耐熱温度200 以下

塗 料 性 状

色	グレー、赤さび					
密度(g/cm ³)(23)	1.35					
光 沢	-					
引 火 点	28					
発 火 点	278 (参考値)					
消防法 表 示	化 学 名	合成樹脂エナメル塗料				
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)				
	危険物等級	III (火気厳禁)				
有 機 溶 剤 区 分	第2種					
毒 劇 物 表 示	-					
有 害 物 表 示	キシレン メチルイソブチルケトン エチルベンゼン 1-ブタノール(別名n-ブタノール)					
国 連/指 針 番 号	1263/128					
環 境 性 能	クロル ^o リス	配合せず	ホルムアルデ ^h ヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシソ	19.5%	ハ ^h ラジ ^h クロ ^h ン ^h ン ^h ン	配合せず	エチル ^h ン ^h ン	3.8%
	スチソ(モ ^h マ ^h)	配合せず	フタル酸ジ ^h -n-ブ ^h ル	配合せず	ト ^h ラ ^h カ ^h	配合せず
	フタル酸ジ ^h -2-エチル ^h キソ	配合せず	ダ ^h イ ^h ソ ^h ソ	配合せず	ア ^h ト ^h アル ^h デ ^h ヒド ^h	配合せず
	フェノ ^h ル ^h ガ ^h ブ	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C	37.3%					

- ・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
- ・加熱残分(%)：64(グレー)

塗 装 基 準

下 地 調 整 :

- ・プラスト処理によりISO Sa2 1/2以上に除錆してください。

荷 姿 :

16kg、5kg

希 釈 剤 :

テツゾール専用シンナー

塗 装 方 法 :

塗 装 方 法	はけ、ローラー塗り	エアレスブレード塗り
希 釈 率	5~10%	15~25%
使 用 量	0.10kg/m ² /回	0.15kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	25μm	25μm
膜厚(ウェット)	60μm	60μm

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

- ・一次圧0.4~0.5MPa 二次圧12~15MPa チップNo.163-613、713など

エアレス条件 :

乾 燥 時 間 :

	5	23	30
指 触 乾 燥	30分	20分	15分
半 硬 化 乾 燥	6時間	4時間	3時間
塗 り 重 ね 乾 燥	16時間以上7日以内	4時間以上7日以内	3時間以上7日以内

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
- ・この塗料の標準塗り回数は2回であり、塗り重ね乾燥間隔は上記を参考にしてください。

注意事項

- ・耐熱塗料は加熱することにより本来の性能を発揮しますので、塗装時期はできる限り運転開始の時期に近づけてください。
 - ・稼働開始時に急激に温度上昇・加熱乾燥させると塗膜はく離を起こすことがありますので、200 /時以下の昇温速度で徐々に昇温させてください。
 - ・所定塗膜性能を得るためには、180 30分以上の加熱が必要です。また、初回加熱後に冷却するとき、180 から直接外気にさらすなどの方法で急冷却しますと、塗膜にワレ・はがれが生じることがありますので、徐々に冷却を行なってください。
 - ・耐熱用ジンクリッチプライマー（ニッペジンキー1000QC-S）の上にテツゾールP-200エコを塗り重ねますと、層間はく離のおそれがありますので、強い防錆力が要求される場合には使用温度が200 以下の場合でもニッペジンキー1000QC-SとテツゾールP-300エコの組み合わせをお使い下さい。
 - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・塗料が付着した可燃物（ウエス、ダンボール等）や塗料カス、スプレーダスト等は自然発火の恐れがあります。速やかに廃却処分するか、容器に入った水に浸して処理してください。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。
- ・記載内容については予告なく変更することがあります。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。